

TOTO 施工説明書


棚付きシングルレバー混合栓

製品の機能が十分に発揮されるように、この施工説明書の内容にそって正しく取り付けてください。取付け後は、お客様にご使用方法を十分にご説明ください。




1 安全上の注意 (安全のために必ずお守りください。)

取付け前に、この「安全上の注意」をよくお読みの上、正しく取り付けてください。





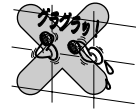


この説明書では機器を安全に正しく取り付けただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

表示	意味
 注意	この表示の欄の内容を無視して誤った取扱いをすると、傷害又は、物的損害が発生する可能性があることを示しています。

お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

	してはけない「禁止」の内容です。
	分解しないでください。
	必ず実行していただく「強制内容」です。

注意

	湯水を逆に配管しないでください。 水を出そうとしても、湯が出てやけどをすることがあります。	
	凍結が予想される場所でご使用になる場合は、「 7 寒冷地用の水抜き方法」を参照の上、凍結予防を確実に実施してください。凍結破損で水漏れし、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。(寒冷地用)	
	取付脚部や配管に腐食・ひび割れ・水漏れなどが無いことを十分お確かめの上、取り付けてください。腐食などがあると、やけどをしたり、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。	
	ねじ部の取扱いには注意してください。 手を切るおそれがあります。	
	住宅用途以外の業務用(レストランなど)で使用しないでください。器具が破損し、やけど・けがをしたり、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。	

2 使用条件

1. 使用水圧の確認

(1) 瞬間型給湯機と組み合わせる場合

給水・給湯圧力 { 最低必要水圧・・・(下表参照)
最高水圧・・・0.75MPa

器具入口部における最低必要水圧(MPa)

給湯機タイプと号数	最低必要水圧	
TOTO ハイカスタム	16号	0.06
	20号	
TOTO ハイトリコン	16号	0.05
	20号	
	24号	
TOTO ハイコマンド	16号	0.06
	20号	
TOTO ハイアクティ	約21号	0.05
	約27号	

<設定条件>

項目	比例制御タイプ
レバーハンドル	全開
吐水温度	38
給湯機配管長さ	5m
給湯温度	60

能力手動切替タイプの給湯機で着火しにくい場合は
(・水温が高い場合は、能力を小さく切り替える)
(・給湯温度を最高温度にする)
と着火しやすくなります。

(2) 貯湯式給湯機と組み合わせる場合

給水・給湯圧力 { 最低必要水圧・・・0.05MPa
最高水圧・・・0.75MPa

(3) 給水・給湯圧力はできるだけ同圧になるようにしてください。

2. 給湯温度の確認

給湯温度は最高85 まででお使いください。

85 以上でご使用になると、器具の寿命が短くなり、水栓が破損し水漏れのため家財に損害を与えるおそれがあります。

給湯に蒸気を使用しないでください。

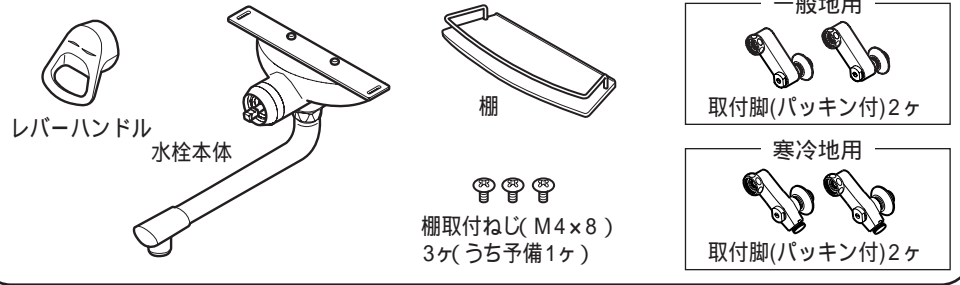
3. 配管について

湯水を逆配管しないでください。

なお、給湯機からの給湯管は、抵抗を少なくするため最短距離で配管し、配管には必ず保温材を巻いてください。

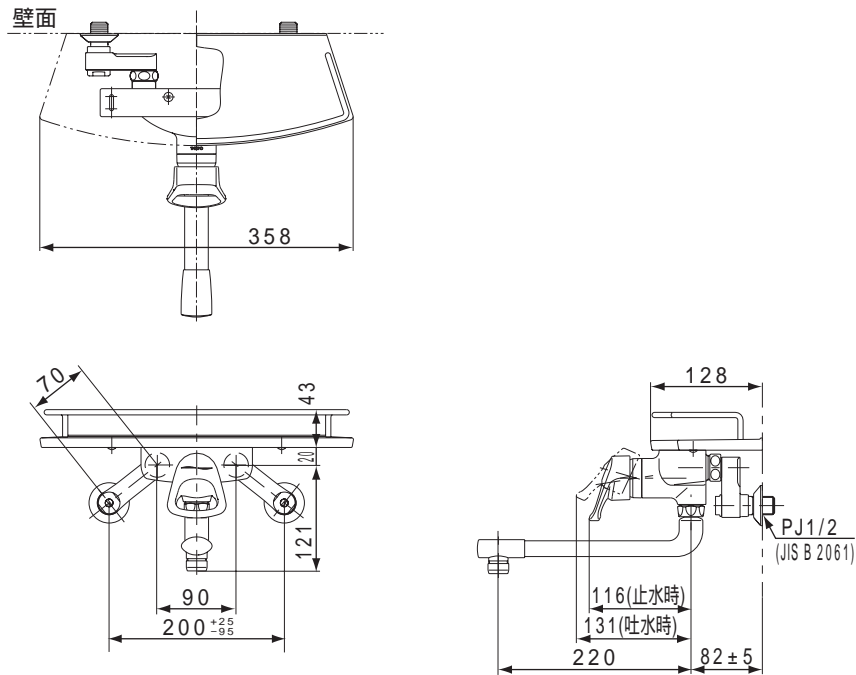
3 部品の確認

同梱部品



4 完成図

商品によっては図と形状が一部異なることがあります。



5-1 施工手順

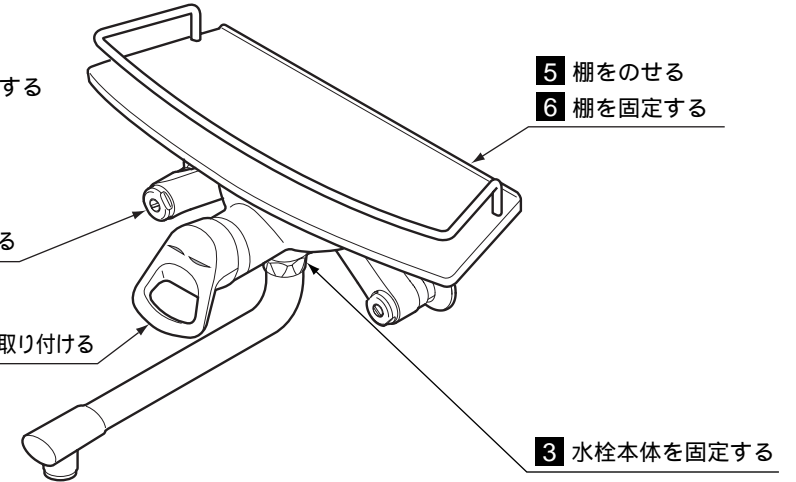
1 給水管内を清掃する

2 取付脚を取り付ける

4 レバーハンドルを取り付ける

5 棚をのせる
6 棚を固定する

3 水栓本体を固定する



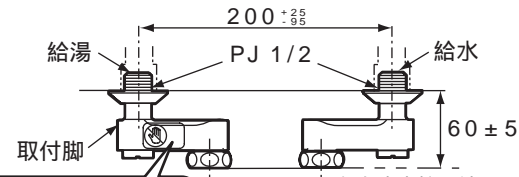
1 給水管内を清掃する

器具を取り付ける前に必ず給水管内のごみ、砂などを完全に洗い流す。

2 取付脚を取り付ける

取付脚を取り付ける。(給水・給湯側)

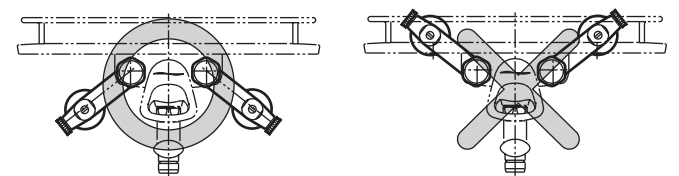
壁面に対して直角



このラベル付の脚は湯側

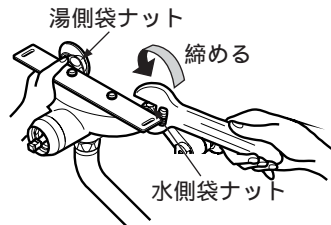
△ご注意
やけどの恐れあり
さわらないで!

取付脚の取付位置が本体よりも上になると、棚が取り付けられません。また、寒冷地用の場合は水抜きができませんので必ず下になるように取り付けてください。



3 水栓本体を固定する

水栓本体を取付脚に取り付ける。
本体が水平になるように調整しながら、モンキーレンチなどで湯側・水側の袋ナットを交互に締め付ける。

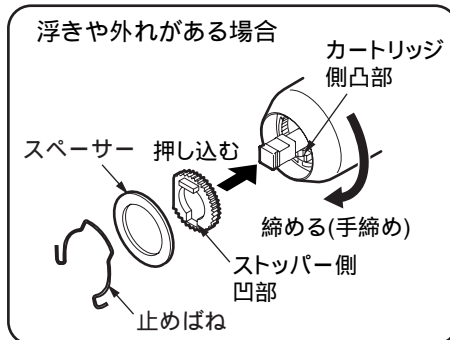
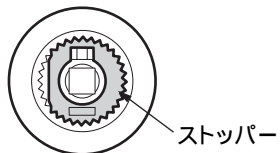


必ず実行 **!** ゆるみがないようにしっかり締めてください。袋ナットが確実に締め付けられていないと、本体が傾いたり水が漏れることがあります。

禁止 **⊘** 取付脚は回さないでください。配管との接続がゆるみ水漏れのおそれがあります。

4 レバーハンドルを取り付ける

ストッパーの浮きや外れがないか確認する。
浮きや外れがある場合はカートリッジ側凸部とストッパー側凹部を合わせて押し込んでください。

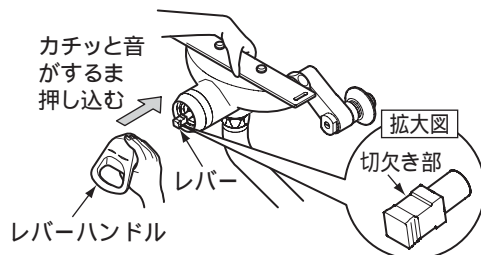


カートリッジ押えの歯とストッパーの歯が合わないときは、カートリッジ押えを **締め込む方向** にて歯を合わせるように調整してください。

レバーハンドルとレバーの方向に注意し、押し込む。

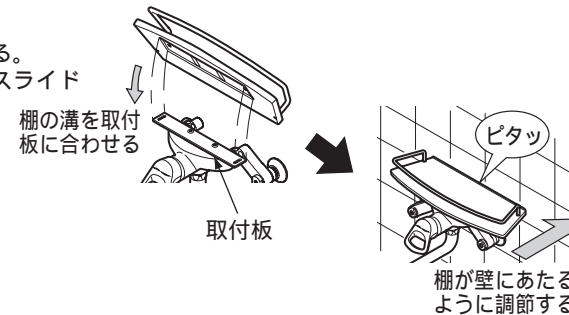
レバーハンドルが容易に抜けないことを確認する。

必ず実行 **!** レバーハンドルとレバーの切欠き部との方向に注意してください。レバーの切欠き部は両サイドにあります。



5 棚をのせる

図のように本体の上に棚をのせる。
棚が壁にあたるように前後にスライドして調節してください。

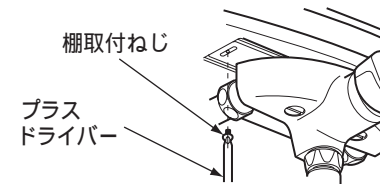


必ず実行 **!** 棚の前後を間違えないようにしてください。器具が破損し、けがをすることがあります。

6 棚を固定する

図のように棚を取付ねじでしっかり締め付けて固定する。

必ず実行 **!** 取付け後は棚がしっかり固定されていることを確認してください。



6

確認

1. 取付け完了後の確認

取付けが完了した後、次の方法で確認を行ってください。



取付工事店以外のお客様は水栓本体内部を分解しないでください。やけど・けがをしたり、水漏れで家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

ご注意

バルブ部カートリッジ内部は精密加工された特殊セラミックバルブを組立調整しておりますので、絶対に分解しないでください。

< 水漏れの確認 >

水栓本体のレバーハンドルが閉まっていることを確認する。
水道の元栓(又は止水栓)を開ける。
水漏れがないか確認する。

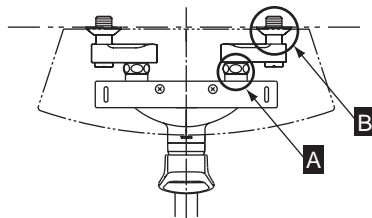
水漏れがある場合は、次のことを確認してください。

A から水漏れがある場合	・同梱のパッキンがきちんと入っているか確認後、再度、袋ナットを締め直してください。
B から水漏れがある場合	・配管に腐食・ひび割れなどが無い事確認の上、再度取付け直してください。



必ず実行

元栓を開ける前にレバーハンドルが閉まっていることを確認してください。



< 水(湯)を出す・止める >

レバーハンドルを上げると水が出る。
レバーハンドルを右に回すと水、左に回すにつれてだいに温度が上がります。
レバーハンドルを下げると水が止まる。

< その他確認項目 >

袋ナットのゆるみがないか確認する。
↳ 「5 施工手順」の「3 水栓本体を固定する」を参照

棚は水平になっているか確認する。
↳ 「5 施工手順」の「3 水栓本体を固定する」を参照

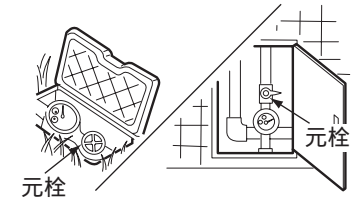
棚にガタがないか確認する。
↳ 「5 施工手順」の「6 棚を固定する」を参照

7

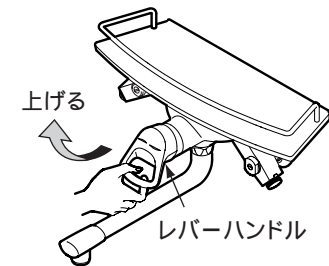
寒冷地用の水抜き方法

寒冷地用の場合は、器具内の水を抜くため、水抜コックがついています。寒冷地用にて凍結のおそれのある時期に施工された場合、配管の水抜き操作と合わせてレバーハンドルを中央位置(湯側・水側の中間)で上げて水抜きをしておいてください。また、お客様にも水抜き方法をご説明ください。

1. 配管部の元栓を閉める。



2. レバーハンドルを中央の位置で上げ、本体の残った水を出す。

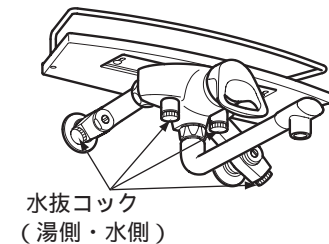


3. 水抜コックを開け、水を抜く。



必ず実行

通水を再開する前に必ず水抜コックを閉めてください。



通水を再開の場合は、レバーハンドルを下げ、水が出ない状態にして、配管部の元栓を開ける。

お願い 同梱の「水抜き方法」のラベルは水栓の近くに貼り付けてください。

同梱の取扱説明書は、必ずお客様にお渡しください。

再生紙を使用しています。